


洪水ハザードマップの説明

このハザードマップは、浦上川流域で想定される最大規模の降雨(24時間総雨量1,040mm)により、浦上川※1が氾濫した場合に想定される「浸水区域」や「浸水深さ」※2と「避難所」など避難に関する情報を表示したものです。

浦上川※1以外の河川の氾濫や内水氾濫など、この区域外においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

※1 対象河川：浦上川水系浦上川、城山川、三川川、大井手川、下の川、油木川、岩屋川
 ※2 浦上川、城山川、三川川、大井手川は、浦上川水系洪水浸水想定区域図(長崎県)に基づく表示
 下の川、油木川、岩屋川は、長崎市が上記と同じ条件で実施したシミュレーションによる推定を表示



**家屋倒壊等
氾濫想定区域**

洪水により家屋倒壊のおそれがある区域

【想定浸水深さ】

- 5m~
2階の屋根以上が浸水
- 3m~5m
2階の屋根まで浸水
- 1m~3m 2階の床下まで浸水
- 0.5m~1m 1階の床下まで浸水
- ~0.5m 1階の床下まで浸水

水平(立退き)避難

浦上川が氾濫していなくても強い雨や内水氾濫により避難が困難となる場合があります。早めの避難を心がけましょう。

垂直避難

想定浸水深さが3m以下で、屋外への避難が困難な場合は2階などの屋内で安全確保!

氾濫の種類

このハザードマップには、浦上川水系の外水氾濫による浸水想定区域を表示しています。

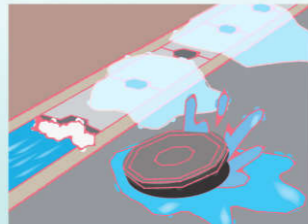
外水氾濫



大雨によって川の水量が増え、河川から水があふれ出す現象

内水氾濫

今回のハザードマップには、内水氾濫による浸水区域は表示していません



大雨によって、下水道や水路から排水ができなくなり、水があふれ出す現象

地下は危険!

- 少しの浸水でも、
- ・扉が開かなくなる
- ・階段を上れなくなる
- …など、危険があります



地下から早く逃げなさい!

家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水により家屋倒壊のおそれがある区域です。



河岸や家屋の基礎を支える地盤が激しい川の流れて削られるなど、洪水による家屋の倒壊が想定されるため、早期に立退き避難が必要な区域です。

※浦上川本川のみを対象としています。

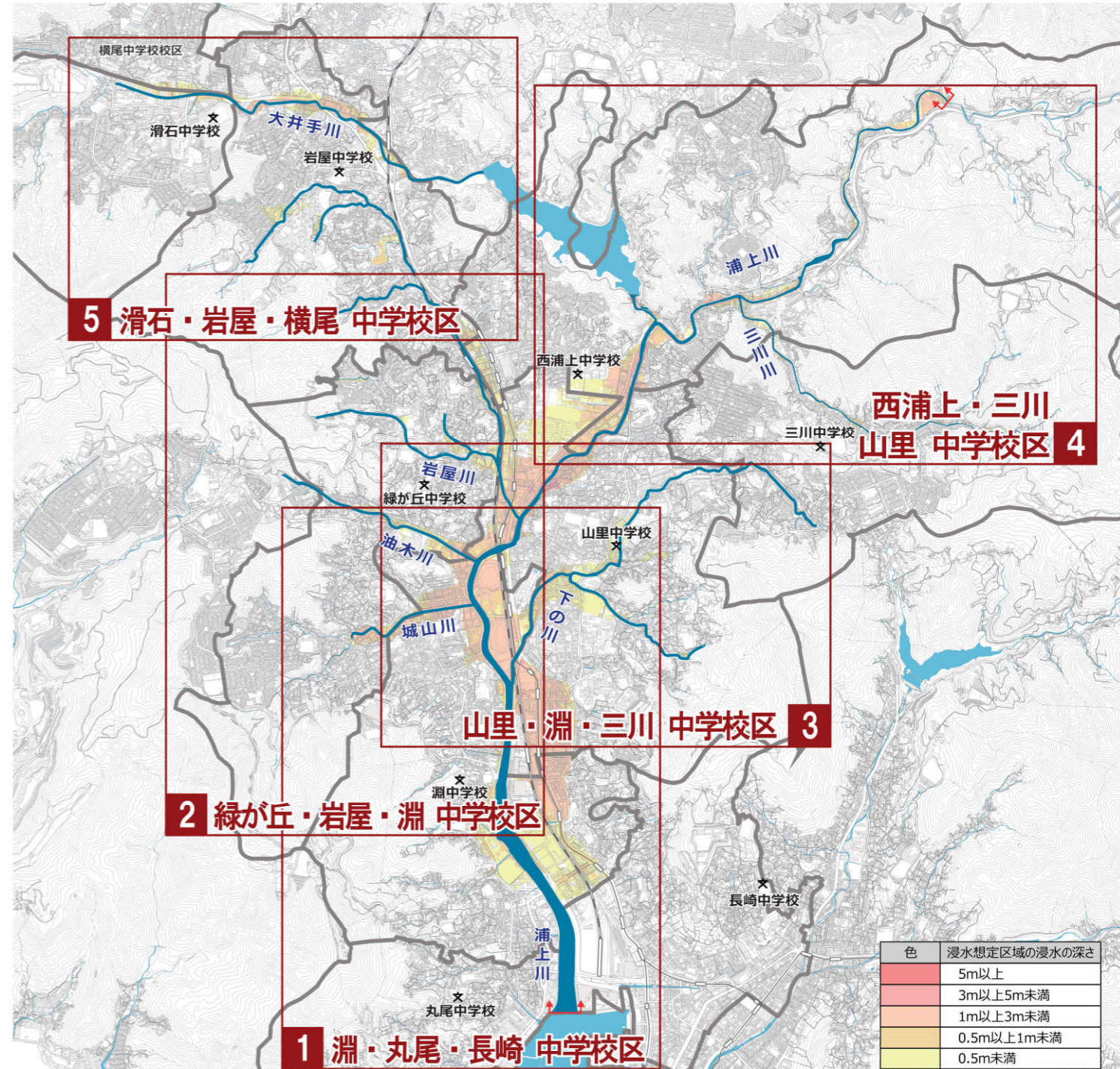
避難所・避難場所

このハザードマップには、最大規模の大雨が発生した際に避難可能な避難所(建物)・避難場所(広場)を掲載しております。

避難所(建物) 災害により自宅で生活できない場合、一時的に滞在できる建物

避難場所(広場) 災害の危険から一時的に逃れるための広場など

ハザードマップ全体図



このハザードマップは、長崎市長の承認を受けて、同市所管の測量成果を複製して作成したものである。(承認番号 令和3年度長都計第738号)

浸水シミュレーション

浸水シミュレーションとは、大雨により川の水かさが増し、川からあふれ出した水が住宅地などに広がる様子をコンピューターにより模擬実験(解析)するものです。このハザードマップは、最大規模の大雨(昭和57年長崎大水害の約2倍の雨量、24時間雨量1,040mm)における以下の河川の浸水シミュレーション結果に基づき作成しています。なお、対象河川以外の川や下水道からの氾濫による内水氾濫、流木や土砂等の流れ込みにより川がせき止められて生じる氾濫は考慮していません。

浦上川水系浦上川、城山川、三川川、大井手川、下の川、油木川、岩屋川

- 浸水想定区域の対象河川区間 長崎県がシミュレーションした河川：浦上川、城山川、三川川、大井手川
長崎市がシミュレーションした河川：下の川、油木川、岩屋川
(詳細な区間はP.8~P.15を参照ください)
- ⏏ 水位周知区間 (水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による浸水想定区域の対象となる河川区間※)
※長崎県告示の浸水想定区域は、長崎県のホームページ(P.20参照)からご確認ください